

NPO 法人 シマフクロウ基金

設立記念シンポジウム

～シマフクロウの過去・現在、そして未来～

2023年8月26日(土)

14:00～17:00(受付開始13:00)

北海学園大学 豊平キャンパス7号館3階(D30) ※裏面参照

定員150名(要申込み)

参加費 無料

<プログラム>

◆理事長挨拶

◆理事講演(各20分)

山本 純郎「シマフクロウの生態(擬傷と攻撃)」

藤巻 裕藏「大陸におけるシマフクロウの生息環境」

早矢仕 有子「シマフクロウとの付き合い方」

竹中 健「シマフクロウ保護の現状(生息数拡大と次へのステップ)」

◆設立経緯

シマフクロウ基金の歴史とこれから 事務局長 本藤 泰朗

◆来賓挨拶

◆パネルディスカッション(40分)

テーマ「シマフクロウのこれから～保全のあり方と人との関わり～」

コーディネーター 外山 雅大(根室市歴史と自然の資料館 学芸員)

パネリスト NPO 法人 シマフクロウ基金 理事

藤巻 裕藏、山本 純郎、早矢仕 有子、竹中 健

環境省 北海道地方環境事務所 野生生物課長 西野 雄一 氏

林野庁 北海道森林管理局 次長 中野 亨 氏

認定 NPO 法人 北海道シマフクロウの会 理事長 村田 正敏 氏

公益財団法人 日本鳥類保護連盟 専務理事 名執 芳博 氏

<申込方法>

メールまたはハガキ

氏名、メールアドレス、電話番号、参加人数をお知らせください。

※複数でご参加の場合は全員の氏名をお知らせください。

※メールアドレス・電話番号は代表者のみ

メール申し込み先

info@fishowlfund.com



← メール申込用 QR

ハガキ郵送先

〒085-1203

阿寒郡鶴居村鶴居西 3-23-1

NPO 法人シマフクロウ基金 宛

お申し込みは先着順

お問合せ先 : NPO 法人 シマフクロウ基金 事務局 E-mail : info@fishowlfund.com

《理事紹介》



藤巻 裕藏 博士 (理事長)

帯広畜産大学名誉教授、元日本鳥学会会長

北海道における鳥類研究の第一人者。鳥類の保全に関して国の各種検討委員を歴任。ロシアの鳥類に関する最新報告の翻訳（シリーズ：極東の鳥類）やエゾライチョウの研究をライフワークとしている。1984年からシマフクロウの保護増殖委員として保護の最初期から関わる。東京都出身。



山本 純郎 (副理事長)

シマフクロウ専門家

シマフクロウの保護活動（巣箱架けや給餌、標識調査）の先駆者。1984年に始まった環境省の保護増殖事業は、山本氏の活動を基礎にしている。給餌や保護個体の飼育を通してシマフクロウの生態を解明してきた。シマフクロウの巣箱も山本氏が考案したものである。京都府出身。



早矢仕 有子 博士 (理事)

北海学園大学教授

1987年からシマフクロウの生態を研究。シマフクロウの研究で博士号を取得。十勝地方のシマフクロウ家族を長年研究対象としている。近年は人間による観察行為がシマフクロウへ与える悪影響についての分析とその回避策の提案に奮闘している。大阪府出身。



竹中 健 博士 (理事)

シマフクロウ環境研究会代表

1991年からシマフクロウの研究と保護活動始める。シマフクロウの全生息地の分布や繁殖状況のモニタリング、生息環境の定量化などを長年試みている。現地での生息調査による最新の状況や問題点をいち早く把握し、各種行政機関と情報共有しながら保護を進めることに努めている。大阪府出身。



本藤 泰朗 (事務局長)

日本鳥類保護連盟釧路支部支部長

環境省のアクティブレンジャーとしてシマフクロウ保護増殖事業に従事した後、日本鳥類保護連盟釧路支部に入職。環境省からの委託事業としてシマフクロウ保護増殖事業を取り仕切っている。NPO法人シマフクロウ基金の前身である任意団体シマフクロウ基金の事務局を担当していた。東京都出身。

会場へのアクセス

※キャンパス内に駐車はできません。公共交通機関をご利用ください。

- ・地下鉄東豊線「学園前駅」下車（3番出口）
- ・地下鉄南北線「中の島駅」・「平岸駅」→ じょうてつバス平岸線 [環56] 「学園前駅」下車
- ・新千歳空港連絡バス「福住駅」下車 → 地下鉄東豊線「学園前駅」下車（3番出口）

会場へのアクセス

